

ペットはどこが痛いということはありません。
むしろ、ぎりぎりまで具合が悪いことを隠そうとします。
飼い主が毎日よく観察して、早く異常を見つけることが大切です。

観察

体の状態、行動、元気、仕草など、見た目や動きに異常はありませんか？食欲や食べる量、飲水量に異常はありませんか？異常な抜け毛（羽毛）やフケなどが落ちていませんか？フンや尿の状態や回数、量に異常はありませんか？毎日よく見て、排泄物はすぐに片付けて清潔を保ちましょう。



スキンシップ

人に触られることがストレスにならないペットは、毎日全身を触りましょう。皮膚の張りや毛（羽毛）の状態、触られた時のペットの反応などから、健康状態を知ることができます。首輪など、ペットが身につけているものもよく見ましょう。古くなっていないか、汚れていないか、きつくはないか、ゆるくはないか・・・不適切な状態はペットに危険です。

ブラッシング

定期的なブラッシングやシャンプーもペットの健康を保つためには必要です。ペットの種類に応じて適切に行いましょう。動物だからといって汚いままにしておくと、見た目が悪くペット自身も不快だけでなく、皮膚病や寄生虫などの病気の元になります。ペットの体を清潔に保つのも飼い主の義務です。



トリミング

トリミングが必要不可欠なペットもいます。このような種類のペットをトリミングしないで放置すると、伸びた毛がからみあい、毛布のようになって、皮膚の病気や痛みでペットはとても苦しむことになります。トリミングが必要なペットは人間がそのように作ったのですから、きちんと世話をする責任があります。



トリミングを怠るとこんな状態に・・・



トリミングは
ぜいたくじゃないよ
ボクには必要な
ことなんだ